

* 本リリースは米国で2021年9月20日に発表されたプレスリリースを抄訳したものです。

プレスリリース

2021年9月21日
Optica

米国光学会、光学・フォトニクスの世界的发展を視野に 学会名を「Optica」に変更

新ブランドは、学会のレガシーを称えるとともに、現在の真の姿を反映し、将来のポジションの確立

米国光学会(OSA)は、2021年9月20日に学会の名称を「Optica」に変更することを発表し、当学会にとっては新たな歴史を刻む日となりました。この新名称は、光の科学と技術の発展を目指す主要なフォーラムとしての当学会の地位を強固なものにし、また、その多様かつグローバルなコミュニティを反映しています。また、「Optica」は、当学会の理念・コンセプトを表すタグラインとして、光学・フォトニクスの世界的发展の推進を意図した The Society advancing optics and photonics worldwide を併せて使用していきます。

Optica は、1916年に光学や光の科学における学問の生成、普及、応用を促進することを目的として設立されました。それ以来、同学問分野と当学会は共に成長してきました。光の発生、検出、動き、変調が光学の核であることには変わりはありませんが、この分野は、最新の通信、イメージング、センシングなど、光を利用した技術、つまりフォトニクスにまで拡大しています。当学会は、新名称のもと世界で最も困難な問題を解決するために、光学・フォトニクスをさらに発展させるための体制を整えています。

米国の地域的な組織として発足した Optica は、現在、世界の国々の93%、43万2千人以上のコミュニティを有しています。Optica の会長であるコニー・チャン・ハスナインは、次のように述べています。「100年以上前に組織が発足した時は、レンズ設計や写真撮影などの技術に取り組んでいた米国の小規模の会員や企業を支援することに主眼が置かれていました。今日、光学・フォトニクス産業は飛躍的に成長しています。この分野は進化を遂げ、今ではメタマテリアル、超高速レーザー科学、量子技術、5G ネットワークなど、様々な技術が含まれています。この分野における第一人者として、私たちの学会名には、実施されている研究とその研究に携わっている人々が反映されていなければなりません。これまでに築いてきたレガシーを称えるとともに、今こそ、当学会の名称を現況に忠実であり、学会の未来を包含するものへと進化すべき時です」

Optica の CEO であるエリザベス・ローガンは、次のように述べています。「この新名称は、当学会コミュニティとの協力と協議を経て決定しました。私たちは、当学会が何者であるのかを表し、次の章に向けた強かつ戦略的な適合性を備えた名称を選ぶことが重要だと考えました。Optica は、高い評価を得ている当学会の雑誌によってすでによく知られていること、地理的に中立であること、多くの言語に翻訳されていることなど、様々な主要条件を満たしています」

2022年にOpticaの会長に就任予定の河田聡は、この新名称が適切なものであると述べています。「現在の組織体制を反映した新名称のもとで、当学会における日本人初の会長として、私たちが目指

す未来へと邁進して参ります。これにより、私たちが卓越性を維持し、発見と革新を促進し、コミュニティを結びつけ、この領域に携わる人々への支援など、当学会の目標を実現することができます」。

当学会では、この新ブランドを採用するとともに、新しいプログラムやサービスを導入していきます。例えば、2022年からは、新興国市場に居住する Optica の会員は、学会の対面およびバーチャルミーティングに無料で参加できるようになります。登録料を免除することで、こうした会員の大きな経済的な障壁を取り除き、誰もが学び、つながり、共有することができるようになります。

Optica の発足を祝して、当学会のグローバルコミュニティの多様性を表現した写真集「Faces of Optica」が制作されました。この写真集には、著名な肖像写真家であるサム・ベイカー氏が、3ヶ月間わたって撮影したアジア、欧州、米国の9都市のメンバーの約70枚におよぶポートレートが掲載されています。詳しくは [Optica.org/faces](https://optica.org/faces) をご覧ください。また、画像ギャラリーもご覧いただけます。

Optica について

Optica (旧 OSA) は、光学・フォトンクスに関する学問の生成、応用、実現、普及を世界中で推進することを目的としています。1916年に設立された当学会は、光の科学に関心を持つ科学者、エンジニア、ビジネスパーソン、学生などのための主要な組織です。Optica の有名誌や、会議、オンラインリソース、実際の活動を通して、発見の促進や、実社会での応用を形成し、科学的、技術的・教育的成果の向上に向けて取り組んでいます。

より詳細な情報については、こちらにご連絡ください。 mediarelations@optica.org

【本件に関するお問い合わせ先】

Optica 広報代理 アシュトン・コンサルティング

E-mail: OpticaTokyoPR@ashton.jp